



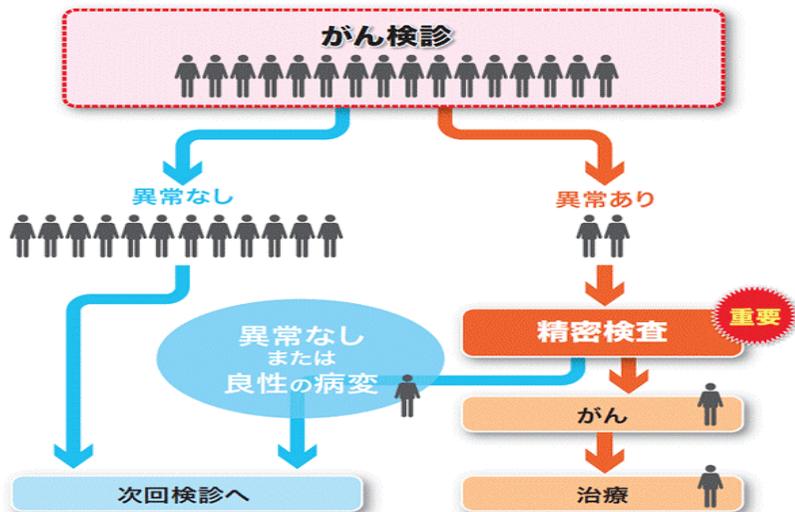
毎年10月はがん検診の重要性を皆様にご理解いただくための「がん検診受診率向上に向けた集中キャンペーン月間」です！

自分自身やあなたを必要とする人のためにもがん検診を受診しに行きませんか？
国民の**2人に1人**が「がん」になり、**4人に1人**が「がん」でなくなっています。

がん検診流れ



がん検診は、一見健康そうな人に対し、「がんがありそう（異常あり）」「がんがなさそう（異常なし）」を判定し、『ありそう』と判断された人を精密検査で診断し、救命できるがんを発見することが目的です。



精密検査や治療を受けないとがん検診の効果はなくなってしまいます。

ちなみに、がん罹患数の**総数第1位**は「**大腸がん**」です！
がん死亡数も大腸がんは、女性の第1位、男性の第2位です！



大腸がん・・・大腸（結腸・直腸）に発生するがん

検診で**早期に発見して治療**することにより、大腸がんで亡くなることを防ぐことができます！

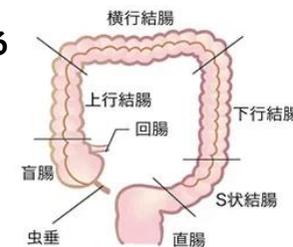
40歳から1年に1度定期的を受診しましょう！

＜検査方法＞：便潜血検査（2日法）

2日分の便を採取し、便に混じった血液を検出する検査です。

がんやポリープなどがあると大腸内に出血することがあり、その血液を検出します。

＜検診の判定＞



異常なし（がんの疑いなし、精密検査不要）の場合は・・・

次回（1年後）のがん検診を受けてください。

異常あり（がんの疑いあり、要精密検査）の場合は・・・

大腸がんは毎日出血しているわけではありません。

1日分でも便潜血検査陽性となったら

必ず精密検査（大腸内視鏡検査など）を受けてください。

便潜血陽性＝大腸がん ではありませんが、

「次の検診でもひっかかったら行く」、「もともと痔があるから」など自己判断せずに精密検査を受けましょう！

※便潜血検査をもう一度受けることは精密検査の代わりになりません！

便は、からだからの大事なお「便」よりです！

すでに気になる症状がある場合には検診ではなく、病院を受診しましょう。

便に血や粘液が混じる 下血する

下痢と便秘を繰り返す 残便感がある

腹部に膨満感がある 便が細くなった など